

第 I 章 「親の学習」について

「親の学習」研究開発・推進委員会専門委員会座長 嶋田 洋徳

1 「親の学習」とは？

- 「親の学習」には、子育て中の親を対象とした「親が親として育ち、力をつけるための学習」と、近い将来親となる中学生や高校生を対象とした「親になるための学習」がある。
- 初めから十分な子育てができる人はいない。親もひとつずつ学んでいけばよい。

最近の「子育て」に関する学術的な研究報告（心理学や公衆衛生学など）を見ると、保護者にとってQOL（クオリティ・オブ・ライフ：生活の質）を高めるのが「子育て」である一方で、ストレス（ストレスの原因）になるのも「子育て」であることが示されています。つまり、その家庭の「子育て」のあり方は、私たちの生活を左右する大きな要因のひとつになっていることが分かります。

また、近年の子どもの社会的問題の増加に歯止めがかからないのは、家庭の「子育て」のあり方に問題があるという指摘も多く、実際に、「家庭からのサポート」を十分に受けていない子どもたちは、学校などの社会的場面でさまざまな問題を起こしやすいということが明らかにされています。このことから、やはり子どもの基本的な生活習慣や社会的マナーの育成には、家庭の養育能力や教育力を高めることが欠かせないようです。

では、一体どうすればよいのでしょうか？ 子どもの健やかな成長にとって、「充実した子育て」が必要であることは、おそらく誰もが知っています。しかし、毎日の生活で続けていくには、相当の努力と忍耐が必要なことは、子育てに携わったことがある方なら、やはり誰もが感じることでしょう。

その解決策のひとつになるのが「親の学習」です。「親の学習」には、子育て中の親を対象とした「親が親として育ち力をつけるための学習」と近い将来親となる中学生や高校生を対象とした「親になるための学習」があります。

子どもたちが日々成長するように、親もひとつずつ学んでいけばよいと考えてみましょう。初めから、十分な子育てができる人はいません。子どもが成長するように、親も（近い将来親となる中学生や高校生も）上手に成長していけば、子どもにとっても、親にとってもきっと満足のいく子育てに行きつくはずですよ。